



# ADRC Highlights

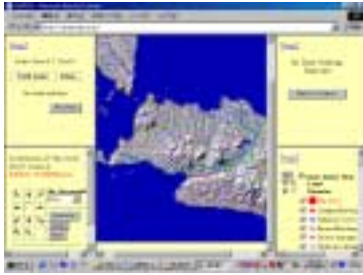
Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

Vol. 6

August 16, 2000

## ➤ インターネット GIS としての VENTEN

ADRC が開発した VENTEN (Vehicle through Electronic Network of disaster geographical information) は、



電子ネットワークを活用した防災地理情報の伝達手段です。七福神の一人である弁財天は、防災も司る神様であることから、VENTEN と名付けました。

VENTEN はあらゆる地理データ (衛星画像、地図など) を表示・分析するプラットフォームとして、エンドユーザに役立つ情報を提供するものです。

地理情報システム (GIS) を使うには、次のことが必要です。

- 1) 衛星画像・地図 (1 次データ) などの購入
- 2) GIS ソフトウェアの購入
- 3) データの加工・解析
- 4) 結果の活用

しかし、現在では地理情報システム (GIS) の導入には、高いコストと高い IT が必要で、また、GIS の標準化は進んでいないため、ニーズ別にソフトを選定する必要があり、幅広い知識が求められます。

これに対し、インターネット上で、地図等の入力、地図の重ね合わせ、各種空間分析等の GIS 機能が全て提供できれば、導入コストを押さえ、誰もが GIS を簡単に利用できるようになります。

アジア防災センターは、このようなプラットフォームを研究し、インターネット防災地理情報システム VENTEN の開発を科学技術振興事業団の研究助成により行いました。

本システムは、Web サーバー、GIS サーバー及びデータベースサーバーから構成され、ユーザーは Web を利用して、どこからでも GIS を操作することが可能です。

現在ではアジア地域の 22 カ国における防災データベースを蓄積しています。

VENTEN の開発目的と整備状況は以下の通りです。

### 1) システム (GIS 機能) を提供すること

- ・任意スケールによる表示
- ・バッファリング
- ・重ね合わせ
- ・防災情報の場所による検索
- ・災害属性による検索
- ・最短距離解析

### 2) データを提供すること

- ・基本地理情報 (1/100 万スケールでアジア 22 カ国)
  - 国境(領域)、水系(線、領域)、鉄道(線)、道路(線)、空港(点)、都市名(点)、人口(数値)、標高を基にした陰影画像、標高の等高線図
- ・防災地理情報

## ➤ アジアにおける最新災害情報

### □ インドの洪水

インド北東部の洪水に対し、赤十字社及び赤新月社は、飲料水、米、毛布などのための 600 万スイスフランの救援を決定した。

被災地では数週間食物や医療から切り離された状態が続いており、救援物資が速やかに届かない場合、住民達に重大な栄養不良や伝染病の恐れがある。

しかし、洪水や地すべりによる道路や橋の寸断により、救援活動は困難であり、特に大きな被害を受けた村へは未だアクセスできないままである。(8/12 IFRC)

### □ ブータンの洪水

ブータン南部、インドとの国境に沿って洪水と地すべりが発生した。1994 年 5 月のサイクロン、同年 10 月の洪水以来の、ブータンの歴史上最悪の災害で、特に Phuentsholing と Pasakha では大きな被害となっている。道路網の寸断、断水が大きな問題となっており、1,000 人以上が避難している。(8/11 OCHA)

### □ 中央・西アジアの干ばつ (続報)

Vol. 5 の報告に引き続き、中央・西アジアの干ばつが深刻な状況である。アラル海流域の 1,500 万人に影響が出ているウズベキスタンでは、政府が、干ばつの被害を軽減させるための支援を国連にアピールした。(8/11 OCHA)

ご意見・ご要望等があれば右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル 3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)